

くすりのしおり

注射剤

2018年10月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：パクトラミン注

主成分：トリメトプリム (Trimethoprim)
スルファメトキサゾール (Sulfamethoxazole)

剤形：注射剤

シート記載：



この薬の作用と効果について

葉酸の生合成を阻害する成分と、葉酸の活性化を阻害する成分の2つの有効成分を配合することにより、相乗的にニューモシスチス・カリニに対して成育阻害活性を示します。

通常、カリニ肺炎の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹、などのアレルギー症状が出たことがある。血液の病気にかかっている、または以前かかったことがある。本人または両親、兄弟に気管支喘息、発疹、じんましんなどのアレルギー症状が出たことがある。肝障害、腎障害、葉酸欠乏または葉酸代謝異常（胃を切除したことがある、出産してまもない、先天性葉酸代謝異常症）グルコース-6-リン酸脱水素酵素欠乏。
- ・妊娠中または妊娠している可能性がある。授乳中。
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、1日3回、1～2時間かけて点滴します。
- ・効果をみながら使用期間を決めていきます。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

副作用として、水疱、蕁麻疹、光線過敏症、発疹、紅斑、かゆみ、血便、痙攣、抑うつ、いらいら感、頭痛、うとうと状態、ふらふら感、しびれ感、ふるえ、脱力、けん怠感、眩暈、幻覚などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・動悸、息切れ、あおざがができる、めまい [再生不良性貧血、溶血性貧血、巨赤芽球性貧血、メトヘモグロビン血症、汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少症]
- ・皮下出血、あおざがができる、白目や皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる [血栓性血小板減少性紫斑病、溶血性尿毒症症候群]
- ・息苦しい、冷や汗 [アナフィラキシー、ショック]
- ・唇や口内のただれ、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱 [中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群]
- ・手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、赤褐色の尿 [横紋筋融解症]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。